

30

日本鐵鋼協會記事

理事會 (昭和13年度第7回)

日時 昭和13年10月11日(火) 午後5時30分開會同6時50分閉會

出席者

理事 齋藤大吉 吉川晴十
 監事 西村小次郎 濱田彪
 前會長 今泉嘉一郎 河村 驥 服部 漸 水谷叔彦
 常務委員 田中清治 山田良之助 三島徳七 鹽澤正一

協議事項

1. 第4回工學大會開催に關する件 (日本工學會會)
2. 第21回日本鐵鋼協會大會開催に關する件
3. 日本鐵鋼協會日本特殊鋼株式會社寄贈資金取扱規則第3條に據る渡邊賞牌に關する件
4. 入退會者及び會員異動

會員異動總計表 (昭和13年10月11日現在)

	名譽會員	維持會員	贊助會員	正會員	准會員	計
新入會者數	4	4	4	15	82	97
退會者數	—	—	—	—	—	—
死亡者數	—	—	—	—	1	1
現在會員數	14	48	19	1,181	1,590	2,852
前月と比較	異動なし	左 同	左 同	+ 15	+ 81	+ 96

報告事項

1. 昭和13年9月分並に上半期收支報告
2. 第20回講演大會實行委員 長尾武雄君追加委嘱の件
3. 第20回講演大會通俗講演者山縣愷介君都合あり取止め日本製鐵常務取締役澁澤正雄君と交代さる。
4. 故香村博士遺族慰問資金募集狀況
5. 野田文庫購入圖書 (9月分)

編輯委員會 (昭和13年第6回)

日時 昭和13年9月28日(水) 午後5時開會同6時30分閉會

出席者 石田四郎 田中清治 網谷俊平 齋藤彌平
 鹽澤正一 志村繁隆 廣瀬政次

協議事項

1. 鐵と鋼第24年第11號上掲論文原稿選定 決定次の通り
 - 1) 鋼塊の鑑定に就ての補遺 梅澤光三郎
 - 2) 鑄鐵内に於ける炭素の擴散に就て 内藤逸策
 - 3) 鋼質缺陷として水素脆性の重要性に就て 太田雞一
 - 4) 高温及低温度に於ける軟鋼熔接部の機械的性質 佐々木新太郎・氏家 竹次郎
2. 鐵と鋼第24年第10號上掲抄録原稿選定
3. 昭和14年春季大會開催準備に關する件
4. 第17回研究部會資料一括説明者委嘱決定 廣瀬委員受諾

報告事項

1. 日本鐵鋼協會研究部會内規改正
2. 第17回研究部會開催順序
 - 1) 課題 熔鑄爐の熱勘定 (I)
 - イ. 開會の辭
 - ロ. 委員長の選舉
 - ハ. 準備委員資料一括説明
 - ニ. 各工場推薦委員資料に就き説明
 - ホ. 昭和製鋼所の熱管理に關する映畫
 - A. 熱管理設備及平爐試驗狀況
 - B. 高爐試驗狀況
 - ヘ. 討 議
 - ト. 閉 會
3. 鐵鋼要覽編纂の件

日本鋼管資金委員會 (第1回)

日時 昭和13年10月11日(火) 午後4時30分開會同5時30分閉會

出席者

委員長 齋藤大吉
 幹事 吉川晴十 河村 驥 田中清治 山田良之助
 三島徳七 鹽澤正一
 委員 今泉嘉一郎 服部 漸 水谷叔彦 齋藤三三

協議事項 (報告)

1. 日本鐵鋼協會日本鋼管株式會社寄贈資金取扱規則
2. 日本鐵鋼協會日本鋼管株式會社寄贈資金取扱規則細則
3. 日本鐵鋼協會研究部會内規改正

新入會者氏名 (自9月8日至10月11日)

居所又は宛名先	勤務先又は職業	會員別	入 會 者	紹 介 者
滿洲國鞍山市中台町五七	工學士 昭和製鋼所	正會員	安 食 三 郎君	立高岩村西風齋澤敷藤風村至山友村加糟
目黒區中目黒四ノ一二五六	理學博士 三井鑛山會社目黒研究所	〃	西 岡 卯 三 郎君	花橋 瀨松 協間 藤村 納 田間松井 本 田 松 藤 谷
京城府永登浦町三四ノ一一	龍山工作株式會社 永登浦工場主任	〃	原 田 春 夫君	貫 說 慶 徳 太 大 勳 大次 太 治 信 一 大 宗
金澤市中村町日本電氣冶金會社	工學士	〃	森 田 四 郎君	守 篤 橋 嘉 藤 宗
滿洲鞍山市北四條町七六 鈴鹿寮	昭和製鋼所製鋼部	〃	片 岡 光 良君	
新潟縣柏崎町比角 (電六五〇・六五五)		〃	理研ピストンリング會社 柏崎工場	
大阪市此花區島屋町 住友金屬工業株式會社製鋼所	理學士	〃	菅 野 猛君	
徳山市遠石町二丁目	徳山鐵板會社	〃	石 田 壯 太君	
大阪市西成區潮路通五ノ三 大阪鑄造所		〃	鈴 木 辰 五 郎君	

名古屋市熱田區熱田東町字丸山 大同製 鋼株式會社熱田工場 品川區南品川六ノ一二七二	研究部 工學士 三菱工業研究 所	准會員 〃	飯田 忠重君 的場 敏夫君	松川 達夫 林 達夫
---	------------------------	----------	------------------	---------------

講演會

時日 昭和 13 年 9 月 30 日 (金) 午後 6 時 15 分開會午後 9 時 35 分閉會

會場 帝國鐵道協會館三階講堂

講演者及び演題

1. 歐米に於ける平爐製鋼の管見

住友金屬工業株式會社鋼管製造所研究部長
工學博士 絹川武良司君

2. 支那事變に於ける日本刀の威力

工學博士 蒔田 宗次君

先づ定刻渡邊理事の開會の挨拶に次ぎ同理事の司會にて絹川博士の講演あり次に河村前會長司會の下に蒔田博士の講演を了し河村博士の開會の辭並に兩講演者へ厚く謝意を述べられ滿場大拍手裡に散會せり

本日の聽講者約 100 名なりき。

日本鐵鋼協會野田文庫購入圖書 (9月分)

邦書之部

書名	著者	年版
耐酸耐蝕金屬及合金	遠藤彦造	昭和13年版

洋書之部

Authors.	Titles.
Sauveur, A.	The Metallography and Heat Treating of Iron and Steel. 4th Ed. 1935.
Lucas C. W.	Press Work Pressures. 1635.
Gregg, J.L.	The Alloys of Iron and Tungsten. 1934.
Windett, V.	The Open Hearth: Its Relation to the Steel Industry, its Design and Operation. 1920.
Kröhnke, O.	Die Korrosion Metallischer Werkstoffe. Bd II. Die Korrosion von Nichteisenmetallen und Deron Legierungen. 1933
Buell, W.C.	The Open-Hearth Furnace. Vol. II. 1937.

Bauer, E. C. O.	Der Einfluss eines geringen Kupferzusatzes auf den Korrosionswiderstand von Baustahl. 1930.
Frommer, L.	Handbuch der Spritzgusstechnik der Metallegierungen einschliesslich des Warmpressgussverfahrens. 1933.
Oberhoffer, P.	Das technische Eisen. 1936.
Piwowsky, E.	Hochwertiger Grauguss. 1929.
Dolch, M.	Der Drehrohrofen. 1926.
Litinsky, L.	Kokerei-und Gaswerksöfen. 1928.
Wotschke, J.	Grundlagen des Elektrischen Schmelzofens. 1933.
Grützner, A.	Eisen-und Stahllegierungen. 1935. (Patentsammlung). I. Ergänzungsheft.
French, H. J.	The Quenching of Steels. 1930.
Grossmann, M. A.	Grain-Size Symposium. 1934.